

「新しいモビリティ・サービスへの期待と課題」

日時：10月19日(火) 16:50-18:35 (5限)

国際学術総合研究棟4階SMBホールにおける
対面授業とオンラインでの受講の併用

公共政策大学院では、「地域交通政策研究」の授業において、下記のとおり、筑波大学名誉教授、(一財)日本みち研究所理事長石田東生氏からお話を伺います。

モビリティ・サービスが大きく変わろうとしています。データや運用の連携を行い移動サービス提供の連続性と総合性を目指すMaaS、人にも環境にも優しいマイクロモビリティの市場導入、これらを踏まえたまちや交通のリデザインなどがその代表例であります。各地で実装を目指したプロジェクトが展開されていますが、いろいろな課題も明らかになりつつあります。これらを踏まえて、課題解決に向けて、また新たな政策方向に向けて全員で議論します。

履修登録者以外の本学学生の参加を歓迎します。(使用言語：日本語、本学学生以外の一般の方は参加・アクセス出来ません。)

※ 対面授業を希望する学生は、直接教室にお越しください。

※ オンライン授業URLはITC-LMSで確認すること。また、資料はITC-LMSにおいて本科目を仮登録の上、ITC-LMSから入手すること。授業開始の1時間前までを目途に掲示する。

一問い合わせ：交通・観光政策研究ユニット tppu@pp.u-tokyo.ac.jp



筑波大学名誉教授
(一財)日本みち研究所
理事長

石田 東生氏